

杉の子通信

古川東町カトリック保育園 平成26年度5月号

5月生まれのお友だち

おたんじょうび おめでとう！！

「友達を大切にすることを育みましょう」

入園して一ヶ月が経過し、少しずつ環境に慣れてきたようで嬉しく思います。進級した子ども達は、2週間程は緊張していた様子でしたが、今では、有り余る程の元気をまるで空を泳ぐ鯉のぼりのように発揮しています。5月の目標は「友達を大切にすることを育みましょう」です。よい友達は一生の宝物です。人は一生のうちでいったい何人の人たちと出会うのでしょうか。小さな子ども達が友達と出会う最初が保育園だと考えるとより良い人間関係を築いていけるようにと願います。

1才頃になると子どもは他の子が持っている玩具を取ろうとしたり触ろうとしたり、目が合うと笑顔をみせたりします。友達への関心が出て来た証です。それから少しずつ友達の側で別々に遊んでいる並行遊び、そして友達と関わって遊ぶようになり、その中でいろいろなルールを学びながら、友達と一緒に遊ぶことが楽しいと思えるようになってくるのです。時々自分の思い通りにならずけんかをすることもあるでしょう。自己主張をしながらも、他の友達の気持ちも考えられる心が育つよう。私たち職員が関わっていけたらと思っています。ある程度のけんかは必要です。その中で自分で考え、解決策を見出していく。『自分で考える』考えるためにはたくさんの言葉が必要。その言葉を得るためには、0才からの大人の語りかけが必要です。現代の短縮した言葉ではなく、きちんとした言葉で・・・子ども達にたくさん話しかけてあげてください。目と目を合わせ、子ども達の声も聞いてあげましょう。そうすることできっとたくさんの友達ができ、親友というかけがいのない宝物を見出すことができることだと思います。

今が未来に繋がっているのです。

〈園長 平野 義子 記〉



おとうさん・おかあさんから

「ママお帰り」とお迎えに行く元気な迎えてくれる〇〇〇ですが、ことり組に入園した頃は朝になかなかママから離れることができません先生に抱っこしてもらい泣いていた姿が今ではとても懐かしく感じます。二人の弟の面倒をよく見てくれて「お手伝いある？」とママの事をいつも気にかけてくれます。絵を描くのが大好きで「ママおみやげだよ」と見せてくれる絵の中にはいつもママが描いてあります。たくさんお友達が出来、保育園に行くのがとても楽しいと話してくれる〇〇〇を見て安心して働くことができました。たくさんの愛情をそそいでくださった先生方、栄養満点の給食を作ってくれた先生方、一緒に遊んでくれたお友達に感謝の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。

〈ひつじ組 〇〇 〇〇〇ちゃんのお母さんより〉



今月のうた

『マリアさま』

*マリアさまお手々あわせて いつの日もわたしのために いのりくださる

- 1、おきるから やすむときまで ちちははのみこころに添い 良い児であれと
- 2、めがさめて イエズマリア ヨゼフさま まもりたまえと 祈るようと
- 3、なにこども すなおにうけて まめやかに かみのこころに そいまつれよと

『バスごっこ』

- 1、おおがたバスにのってます きつぷをじゅんにわたしてね おとなりへ ハイ おとなりへ ハイ おとなりへ ハイ おとなりへ ハイ おわりのひとはポケットに
- 2、おおがたバスにのってます いろんなこが見えるので よこむいたアツ うえむいたアツ したむいたアツ うしろむいたアツ うしろのひとはねむった
- 3、おおがたバスにのってます だんだん道がわるいので ごっつんこ ドン ごっつんこ ドン ごっつんこ ドン ごっつんこ ドン おしくらまんじゅう ギュツ ギュツ ギュツ

5月の行事予定

1日(木) 静修の日	2日(火) 子どもの日の集い
23日(金) 誕生会	27日(火) 縦割り保育
31日(土) 親子遠足	〈マリンピア松島水族館〉

*遊園地禁



クラスだよ



ばんび組（0歳児）

〈ねらい〉

- ・一緒にいる友達に興味を持ちながら生活する。
- ・外気に触れる心地よさ、のびのびと手足を動かす楽しさを味わう。

〈家庭連携〉

- ・友達の存在や友達への関心を仲立ちとなって伝えていきましょう。
- ・天気の良い日に散歩したり、草花を見せその美しさを話してあげてください。

ひよこ組（1歳児）

〈ねらい〉

- ・生活リズムが安定し友達と関わって遊ぶ。
- ・スプーンを使って食べることに興味を持つ。

〈家庭連携〉

- ・連休の疲れが出てきたり、生活リズムが乱れがちになります十分に休息をとり生活リズムを整えましょう。
- ・手づかみで食べる姿を認めながらもスプーンを正しく使えるよう知らせていきましょう。



ことり組（2歳児）

〈ねらい〉

- ・友達と関わり楽しく遊ぶ。
- ・園生活のリズムに慣れ、安心して過ごす。

〈家庭連携〉

- ・子どもと一緒に遊びながら、友達と遊ぶことの楽しさを知らせて下さい。
- ・疲れが出てくる時期なので、健康状態について十分に連携を取り合しましょう。



こねこ組（3歳児）

〈ねらい〉

- ・友達を思いやる気持ち、大切にすることが育つ。
- ・春の自然に触れ、伸び伸びと遊ぶ。

〈家庭連携〉

- ・自分だけでなく、相手の気持ちも考えられるよう、優しく接する大切さを知らせていきましょう。
- ・気温に応じて衣服調節をすることで子ども一人で着替えやすいものを補充してください。

うさぎ組（4歳児）

〈ねらい〉

- ・友達を大切に思いやりの心を持ちながら生活する。
- ・歌をうたったり、体を動かすことを楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・友達の大切さを知らせ思いやりの心を持って接することができるようにしましょう。
- ・季節の歌をうたったり、体を動かしたりすることで、表現遊びの楽しさを味わえるようにしましょう。



ひつじ組（5歳児）

〈ねらい〉

- ・友達を大切にできる心や、共に喜び悲しみを分かち合う心が育つ。
- ・戸外で十分体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

〈家庭連絡〉

- ・自分の思いを伝えるだけでなく、相手の思いをじっくり聞けるようにはなしましょう。
- ・休みの日はお子さんと体を動かして遊び一緒に汗をかきましょう。

給食室

- ・新しいクラスに慣れ、楽しい会話の中で食事ができるようになりました。5月は箸の使い方について食育を行いたいと思います。ご家庭でも食事の際正しく箸を持ち使っているか見守り声を掛けてあげてください。



「友達を大切にできる心を育みましょう」

新しいクラスになって1ヶ月が経ちました。新入園児も加わり、互いに緊張し合いどうやって関わればいいのか、初めは戸惑っている様子でした。しかし数日後には困っている様子を察し、ジャンパーをかける場所や次に何をやるのか、など優しく知らせていました。些細なことでトラブルや喧嘩になることもたくさんありますが、友達がいれば一人でできないことも、2人3人と友達と協力することで、できなかったこともできるようになります。又、楽しさも倍増すると思います。大人になっても友達というものは、良き相談相手、困っている時に助け合うことができる大切な存在だと思います。思いやりを持って接することができるよう知らせていきたいです。

〈うさぎ組担任 木村 友香〉

おしらせ

昨年産休・育休で休んでいた

岡部 紗希保育士が5月1日から

復帰します。宜しくお願いします！

あなたの一分間拝借

2014年5月1日



誰でも今の自分を振り返る時、それぞれの時と場で得た友達と過ごした時を懐かしく思うものです。良い、友達、あまり感心しなかった友達さまざまで、各位の人生を知り、敬意を新たに感謝の念を深めます。良い友達、あまり感心しなかった友達、自分が困ったとき支えてくれた友達、病気の時見舞いに来て、痛みや不自由さを共感し合った友達、順風満帆で有頂天になり、驕りの心に気付かなかった自分を諷めてくれた友達……みんな尊く有難い存在です。人間の成長過程、人格完成のために、神が与えて下さった不可欠な友達ではなかったかと感謝しなければならないと思っております。

5月は、友達を大切にすることを教育目標にしております。少子化時代といわれる今、殆どの子ども達は友達に飢えているのではないかと思います。初めて保育園に来て友達と、どうかかわってよいか分からず戸惑っている姿を見受けます。今まで一人遊びに日々を過ごしてきた環境のせいでしょうか。一日も早く友達と楽しく生活するために、自分から進んでかかわるように心配りするようにお手伝いしてあげてを祈ります。人は皆社会性に召されているのですから、惻隱の情をもって呼びかけていただきたいと思えます。友達と共によりよき人間に成長していくために、とても大切なそして自分にとってなくてはならないことにお互いが気付き合えば、やがて心友として交わるよう成熟し、大人になってからも、本物の友情として愛を分かち合える交わりができるようになることでしょう。愛を目指しているところにお互いを大切にする力が育まれると、聖書は私たちに呼びかけています。

聖書はパウロをどうして「愛は寛容で、情け深い」と言っております。寛容とは、悪に悪を以って交わったり自分の狭い考えだけに固執して、相手の意見を否定する心ではありません。すべてを包むような広い心を言います。そこには他人を歓迎し、受け入れるような余裕があります。なざけぶかいとは「あなたが私にとって大切な人だ」ということを相手に体験させます。そこには、相手が自分にとって宝のように大切にされる姿勢があらわれていると言います。人間こそ、金銀よりも、またどのような儀式や規則よりもずっとずっと大切な存在であること、これはイエスの教えです。イエスは、父なる神のみ心の通りに人間をすべてのものに優先させておられました。

それでは、聖書が私たちに啓示している具体的な心を心の糧として熟読玩味しましょう！

愛は決して「しない8ヶ条」

- 1 愛はねたみません。 愛は相手の成功、出世等を感謝し、喜びを分かち合う力だから。
- 2 愛は自慢しません。 右の手がしていることを左の手に知らせるなどイエスはいつてる。
- 3 愛は礼を失いません。 相手の気持ちを傷つけないようよく考えて心配りする力。
- 4 愛は自分の利益を求めません。 神の国とその義とを求めよというイエスの心に反するから。

- 5 愛はいらだちません。 イエスは言う、他者と含むことがあれば、まず和解せよ、和解は供え物に優る。あなたが赦すように神はあなたを赦される。
- 6 愛は、恨みを抱きません。 復讐をたくらむ人は愛を知らない人です。正しい社会を作るためには、慈愛も絶対に必要です。「汝の剣を鞘に納めよ、剣を取るものは剣で滅ぼされる。」
- 7 愛は不義を喜びません。 人間には自分と他人と比べ他人を裁く悪癖、傾向がある。イエスは「人を是非する前に自分を是非せよ」と警告しています。
- 8 愛は高ぶりません。 愛と謙遜は表裏一体です。謙遜な人のみ、他の人を自分より大切にすることが出来ます。つまり愛することが出来るのです。愛情と異なることに注目！

わたしは、あなたがたを友と呼ぶ。友のために自分の命を捨てること

これ以上大きな愛はない！（ヨハネ15の13）

聖書は愛について次のように結んでいる。

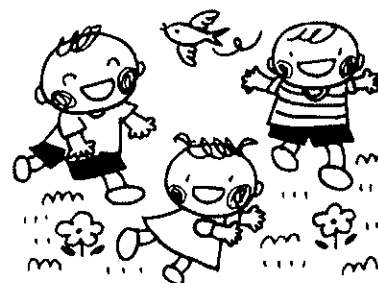
愛は真実を喜び、全てを忍び、全てを信じ、全てを望み、全てに耐える。

愛は決して滅びない。（コリントの信徒への手紙13の7～8）

目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することが出来ない。

神を愛する人は兄弟をも愛すべきです。これが神から受けた掟です。

（ヨハネの手紙1の4の20～21）



カトリック司祭 川井 啓